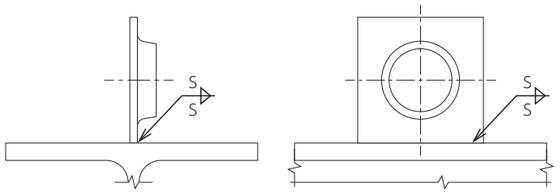
施工および施工管理

BRシアコネの取付に関しては建築工事標準仕様書JASS6 鉄骨工事および鉄骨工事技術指針に従い施工してください。
BRシアコネの所定の性能を発揮させるために必要なすみ肉溶接サイズは以下となります。

●BRシアコネの接合方法（標準仕様）

溶接方法	両面すみ肉溶接
端部処理	回し溶接
すみ肉サイズ（S）	6mm



⚠ 鉄骨工事技術指針・工事現場施工編等に従い鉄骨建方時の墜落防止措置を講ずるとともに、梁上歩行時の注意喚起を行ってください。
⚠ BRシアコネを吊ピース、建入直しピースとして使用しないでください。

ご使用にあたって

1. 本カタログは、建築設計事務所様・建築施工業者様において、BRシアコネを用いた建築物を設計および施工・管理される際に、安全かつ効果的にご使用いただくためのものです。
2. 設計・施工にあたっては本カタログ・設計施工マニュアル・標準図等を必ずご一読くださるようにお願いいたします。
3. 製品仕様、規格等は改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
4. カタログ内に掲載されている画像は、実物とは外観が多少異なることがありますので、あらかじめご了承ください。

本カタログ内での表記について
特に注意していただきたい事項については、下記の警告表示をしております。
⚠： 一般的な注意を喚起する表示

免責事項

万一、「BRシアコネ」に問題が発生した場合には、下記の免責事項を踏まえた上で対応させていただきます。
●本カタログ・標準図・技術資料等に記載した注意事項が行われずに発生した不具合
●本カタログに記載した事項に反した設計・施工方法による不具合
●標準仕様以外に設計者・施工事業者等の使用者が指示した仕様・施工方法に起因する不具合
●不可抗力（天災・地変・地盤沈下・火災・爆発・騒乱など）により発生した不具合
●開発・製造・販売時に通常予想される環境下の条件下以外における仕様・保管・輸送等に起因する不具合

岡部株式会社
okabe
〒131-8505 東京都墨田区押上2-8-2
TEL.03-3621-1611　FAX.03-3621-1616
https://www.okabe.co.jp

北海道支店	011(873)7201	千葉営業部	043(290)0150	関西支店		九州支店	092(624)5871
東北支店		横浜営業部	045(651)1741	大阪兵庫営業部	06(6339)9001	福岡営業部	092(624)5886
仙台営業部	022(288)7161	北関東営業部	0480(25)5656	京滋営業部	0774(43)2200	大分営業部	097(547)8861
盛岡営業部	019(606)3780	特販営業部	03(5637)7196	中四国支店		長崎営業部	095(882)8282
信越支店		名古屋支店		広島営業部	082(254)4811	宮崎営業部	0985(29)4965
新潟営業部	025(287)7711	名古屋営業部	0568(71)6321	岡山営業部	086(273)5672	熊本営業部	092(624)5873
長野営業部	026(217)2445	静岡営業部	054(204)2050	山口営業部	083(902)1452	鹿児島営業部	099(812)8380
東京支店	03(3623)6441	北陸営業部	076(238)7353	山陰営業部	0853(24)9856	沖縄支店	098(856)2700
東京営業部	03(3623)8181			四国営業部	087(841)0023		

●特約店・取扱店

本カタログに表示するBRシアコネは岡部株式会社の商標です。
本カタログに掲載されている仕様、規格等は改良のため予告無く変更することがあります。
なお、カタログの制作には慎重を期しておりますが、誤字・脱字等により生じた損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

2502・2502・2107FA・02

BR Shear Connect

国土交通大臣認定
建築基準法37条2号の規定に係る認定
MSTL-0547

(一財)日本建築センター
BCJ評定-ST0298-02

鉄骨梁・コンクリートスラブ接合工法
（バーリングシアコネクタ）

BRシアコネ PAT.P

New 合成梁設計に対応
鉄骨先付の機械的ずれ止め

岡部株式会社
okabe

スタッド工事に代わる、ずれ止めの新たな選択肢

BR Shear Connect **BRシアコネ**

ずれ止めの新たな提案

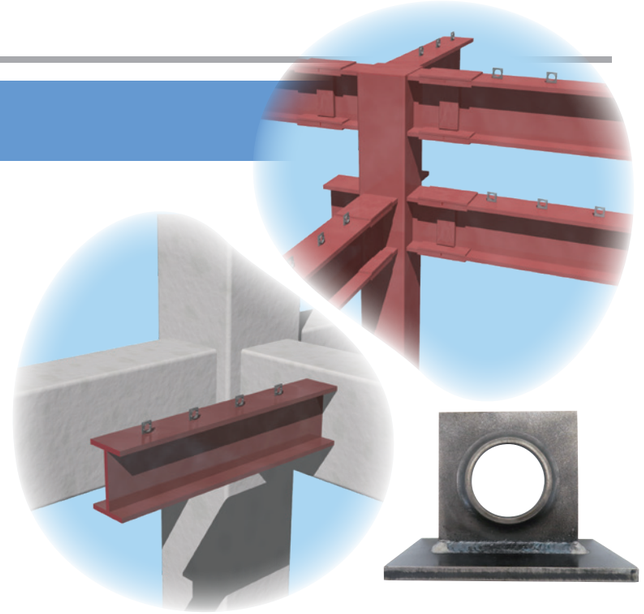
BRシアコネが実現

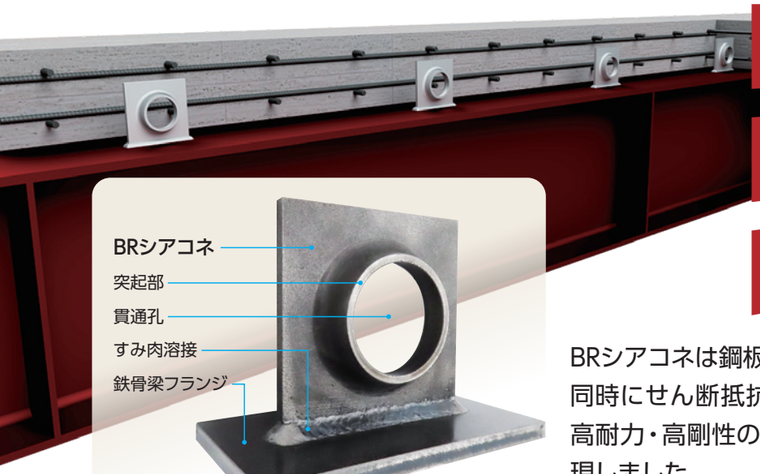
◆スタッド数量が少なく
工事の手配が困難な場合

◆少量のずれ止めで
合成効果を期待したい場合

◆現場で火花が発生する
溶接工事を削減したい場合

◆梁上の障害物により
スタッド溶接が困難な場合





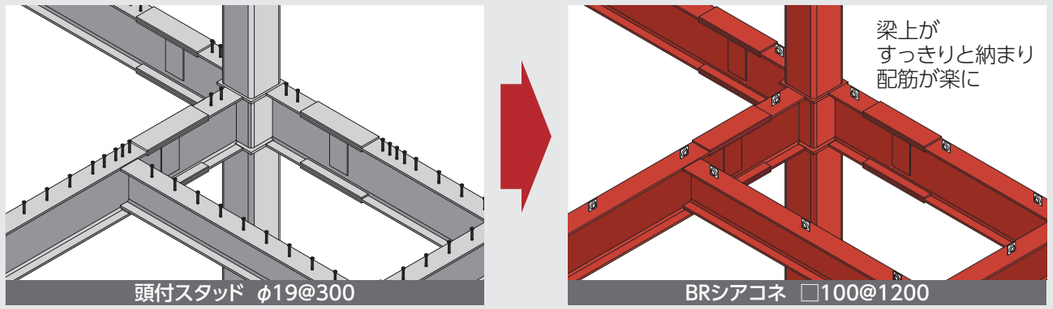
合成梁設計（最大1200mm間隔）

現場省力化工程削減

現場排出CO_2削減

BRシアコネは鋼板の突起部と貫通孔内部のコンクリートが同時にせん断抵抗することで従来のずれ止めと比較して高耐力・高剛性の上、工場溶接が可能なシアコネクタを実現しました。

設計イメージ



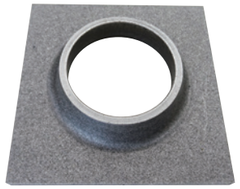
※図は一例です。ご採用の際は設計が必要になります。

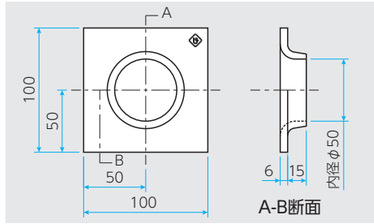
製品仕様

バーリング加工と呼ばれる冷間成形加工により突起部を形成した材料認定を取得しているずれ止めです。

鋼材の規格	認定番号	基準強度（F値）
BRSC-OK400（SN400B相当）	MSTL-0547	235 N/mm²

品　名	重　量	入　数
BRSC-100L	0.44kg	30枚





設計方法

設計 1　ずれ止めとして設計する場合
地震時水平力をはじめ、スラブの面内せん断力を梁へ伝達するためのずれ止めとして設計できます。

New 設計 2　合成梁として設計する場合
スラブと梁の合成効果を期待し、配置数量に応じた剛度増大率を設定できます。

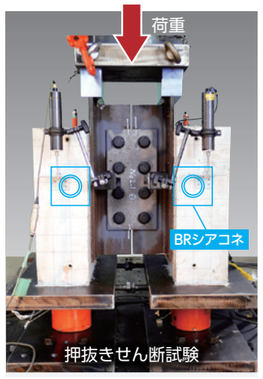
⚠ 設計方法やBRシアコネの配置に関する制限については、設計施工マニュアル並びに技術資料をご参照ください。

適用範囲

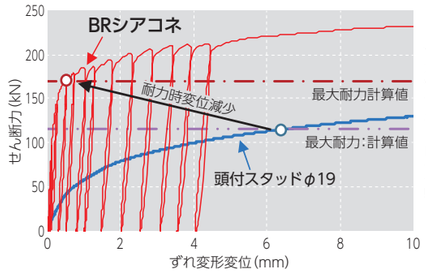
項目			適用部材および部材に関する規定
共通項目	構造種別		鉄骨梁（H形鋼、組立H形鋼）
	鉄骨梁に関する規定	材質	基準強度 440N/mm²以下
		鋼種	SS400、SM400、SM490、SM520、SN400、SN490、NSYP345B、NSYP385B SMA400、SMA490、TMCP325、TMCP355、TMCP385、TMCP440、SA440
	コンクリートに関する規定	コンクリート種別	普通コンクリート
		設計基準強度	Fc=18～36 N/mm²
		粗骨材の最大寸法	20mm、25mm
	スラブに関する規定	上面かぶり ※1	50mm以上（※1　BRシアコネの上面かぶり）
		スラブ厚　※2	Fc=18:180mm以上　Fc=21～36:150mm以上（※2　BRシアコネ配置箇所）
		スラブ鉄筋比	梁の材軸方向と直交する方向0.2%以上
		スラブ筋	SD295、SD345、SD390、線径6mm以上の溶接金網
合成梁設計時	合成梁とする場合	鉄骨梁せい　H	1200mm以下
		せん断スパン比	5≦L/H≦25（L：スパン）
		スラブの有効厚さ	300mm以下　※嵩上げ部を除く平板状のコンクリート厚さ

⚠ 合成デッキプレートの耐火認定を適用する場合には、デッキプレートメーカーの認定仕様、接合仕様をご確認ください。
⚠ BRシアコネには間隔や配置方法に関する制限等がございます。設計施工マニュアルを参照ください。

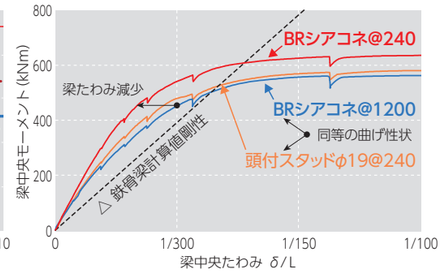
構造性能



BRシアコネは、押抜きせん断試験によりずれ止め性能の把握および、BRシアコネを使用した梁の実大曲げ実験により合成梁の曲げ性能の把握を行っています。



せん断力－ずれ変形関係（押抜きせん断試験）



梁中央部曲げモーメント－たわみ関係（実大梁曲げ実験）